

# 日立電鉄線跡地を活用した『ひたちBRT』におけるデザインツール群

ひたちBRTサポーターズクラブ、日立市  
日立電鉄交通サービス株式会社、山本早里（筑波大学）

第9回JCOMMポスター発表  
（平成26年度JCOMMデザイン賞）

## ◎ 背景

日立市では、地方鉄道『日立電鉄線』の廃線敷を専用道路として整備し、定時性、速達性に優れたBRT（Bus Rapid Transit）を導入した。

BRTは近年注目を浴びる公共交通機能であるが、導入事例も少なく地域住民にとってはあまり馴染みがない乗り物である。

また、鉄道廃止によって、地域住民にとって公共交通の必要性、重要性が高まる中、バス交通のマイナスイメージを払しょくし、公共交通利用の減少に歯止めをかけ、新たな乗り物を広く市民へ周知を図るとともに、本市や地域の魅力をPRするため、様々なデザインプロジェクトを進めてきた。

## ◎ 日立市の概要



（人口）187,122人 ※H26.1.1現在  
（面積）225.55km<sup>2</sup>  
（産業就業比率）（道路混雑度）  
第1次：1.5% 国道6号 2.18  
第2次：36.9% 国道245号 1.57  
第3次：59.0%



## ◎ デザインツール群

### 専用車両



原作を活かし、趣のある古色を使用し、桜をイメージした『サクララピッド』

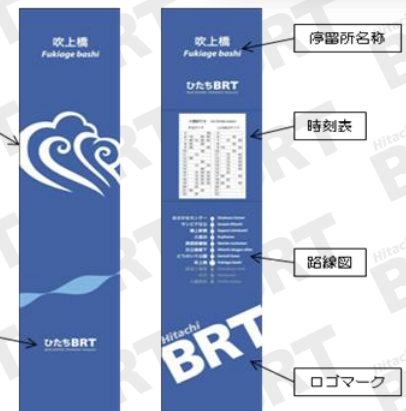


公募より選定したデザインをリメイクし、海をイメージした『ブルーラピッド』

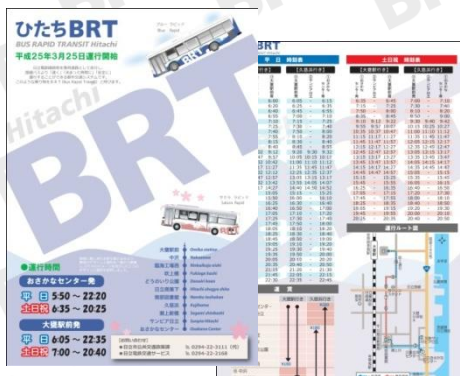
### 停留所サイン

イメージマーク

ロゴマーク



### 運行情報・関連グッズ



ちょっとした買い物に便利なエコバック（左上）、ロゴと路線図が入ったクリアファイルとボールペン（左）、折りたたむとパスケースに入るポケット時刻表（右上）



（※）サンピア日立



（※）南部図書館

車両と統一感ある停留所サイン。特色ある地域（地名）や施設をイメージマーク化。

路線図、時刻表が記載されているリーフレット。地域住民に配布。



沿線の歴史や文化、店舗等を掲載した沿線マップ。地域の皆さんが作りました。



↑ 停留所脇に昔の鉄道車両をモチーフにした掲示板を整備

← 図書館脇にミニチュアホームを再現。歴史や文化の教育の場として整備。

## ◎ 効果

導入後、市民満足度調査を実施したところ、車両デザインについては、定時性・速達性のBRT機能に次ぐ、高評価（5段階評価で4.3）を得た。

また、導入沿線のバス利用者が平日平均470人を超え、導入前の約4倍に増えたことから、本プロジェクトにより、市民の交通に対する意識変革による公共交通利用の促進、『ひたちBRT』のブランディングによる地域活性化が図られた。

# 日立電鉄線跡地を活用した『ひたちBRT』におけるデザインツール群

ひたちBRTサポーターズクラブ、日立市  
日立電鉄交通サービス株式会社、山本早里（筑波大学）

第9回JCOMMポスター発表  
（平成26年度JCOMMデザイン賞）

